

令和6年8月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年8月分について、輸出額は「自動車」などが減少したものの、「半導体等製造装置」などが増加したことから、対前年同月比5.8%の増加となった。また、輸入額は「がん具及び遊戯用具」「原粗油」「衣類及び同附属品」などが減少したものの、「液化天然ガス」「石油製品」「自動車」などが増加したことから、同3.7%の増加となった。

その結果、差引額は6,471億円（同7.8%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降159カ月（13年3カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。

注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

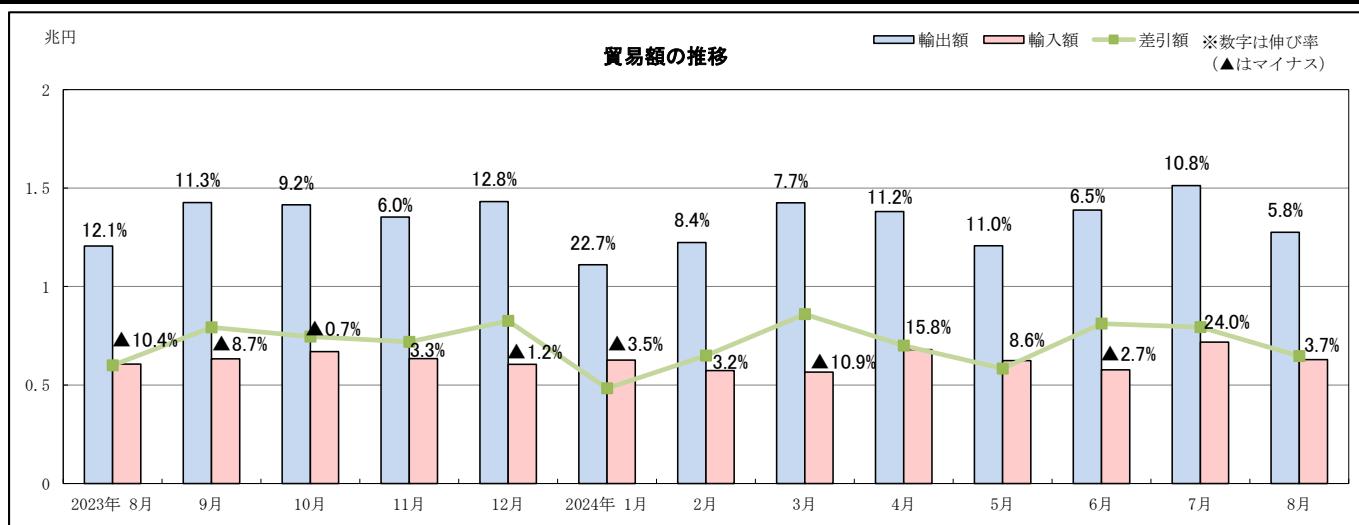
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆2,759億円	+5.8%	6,288億円	+3.7%	6,471億円	+7.8%
	34カ月連続の増加			2カ月連続の増加		16カ月連続の増加
	順位 過去 16位	8月として 1位	順位 過去 14位	8月として 2位	順位 過去 35位	8月として 1位
管内（名港シェア）	1兆9,593億円 (65.1%)		1兆1,667億円 (53.9%)		7,926億円 (—)	
全国（名港シェア）	8兆4,419億円 (15.1%)		9兆1,372億円 (6.9%)		▲6,953億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出 増加 (1)	半導体等製造装置	319億円	+120.0%	+1.4	5カ月連続の増加
	自動車	3,471億円	▲1.5%	▲0.4	6カ月ぶりの減少
輸入 増加 (1)	液化天然ガス	541億円	+63.1%	+3.5	5カ月連続の増加
	(2) 石油製品	168億円	+161.0%	+1.7	3カ月連続の増加
	(3) 自動車	83億円	14倍	+1.3	12カ月連続の増加
輸入 減少 (1)	がん具及び遊戯用具	14億円	▲86.6%	▲1.5	2カ月ぶりの減少
	(2) 原粗油	532億円	▲12.3%	▲1.2	2カ月ぶりの減少
	(3) 衣類及び同附属品	356億円	▲15.0%	▲1.0	2カ月ぶりの減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。